

Agile+ Relief J 強化ポイント説明書

1. 最新バージョンの強化ポイント (Agile+ Relief V1.1の不具合修正および対応OS追加)

1) 最新OS/MW環境への対応

Agile+ Relief V1.1 C/C++が動作するOS/MW環境として以下を追加しました。

[OS環境]

- Windows (R) 11
- Windows Server (R) 2022
- Red Hat Enterprise Linux 8

[Microsoft (R) Office Excel (R)] ※ 診断レポート生成ツール利用時

- Microsoft (R) Office Excel (R) 2021
- Microsoft (R) Excel (R) for Office 365 バージョン2202にて動作確認済)

[サーバー仮想化ソフトウェア]

- Microsoft (R) Windows Server (R) 2202 Hyper-V (R)
- VMware vSphere 7

2. 過去バージョンの強化ポイント

2. 1. 強化ポイント (2019 → Agile+ Relief V1.1)

1) 最新OS/IDE/MW環境への対応

[Microsoft (R) Office Excel (R)] ※ 診断レポート生成ツール利用時

- Microsoft (R) Excel (R) for Office 365

2. 2. 強化ポイント (2018autumn → 2019)

1) 最新OS/IDE/MW環境への対応

- ・ Windows Server (R) 2019 ※ フローティングライセンス版のみ対応
- ・ Eclipse 4.10.0, 4.11.0 (64ビット版)
- ・ Eclipse 4.10.0, 4.11.0 (64ビット版)
- ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2019 Hyper-V (R) ※ フローティングライセンス版のみ対応
- ・ Microsoft (R) Office Excel (R) 2016 (32ビット版)
- ・ Microsoft (R) Office Excel (R) 2019 (32ビット版)

2) CIツール連携 Jenkinsプラグインの提供方法変更

- ・ 『CIツール連携 Jenkinsプラグイン』を、製品HPからのダウンロード形式で提供

2. 3. 強化ポイント (2018 → 2018autumn)

1) 最新OS/MW/IDE環境への対応

- ・ Java 11
- ・ Eclipse 4.8.0, 4.9.0 (64ビット版)

2. 4. 強化ポイント (2017autumn → 2018)

1) Java開発環境のバージョンアップに対応

- ・ Eclipse 4.7.1, 4.7.2, 4.7.3 (32/64ビット版) で利用可能

2) 連携ツールの追加

- ・ PMD 6.0.0, 6.0.1, 6.1.0 と連携

2. 5. 強化ポイント (2017 → 2017autumn)

1) Java開発環境のバージョンアップに対応

- ・ Eclipse 4.6.3, 4.7.0 (32/64ビット版) で利用可能

2) Android開発環境のバージョンアップに対応

- ・ Android SDK 7.1 に対応
- 3) 連携ツールの追加
- ・ PMD 5.4.5、5.4.6、5.5.4、5.5.5、5.5.6、5.5.7、5.6.0、5.6.1、5.7.0、5.8.0、5.8.1 と連携

2. 6. 強化ポイント (2016autumn → 2017)

- 1) OS環境に対応
 - ・ Windows Server (R) 2016 に対応
- 2) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 4.6.1 (32/64ビット版)、4.6.2 (32/64ビット版) で利用可能
- 3) Android開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Android SDK 7.0 に対応
- 4) 連携ツールの追加
 - ・ PMD 5.3.8、5.4.3、5.4.4、5.5.2、5.5.3 と連携
- 5) サーバー仮想化ソフトウェアに対応 (フローティング版のみ)
 - ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2016 Hyper-V (R) に対応
- 6) コードチェック結果の共有機能追加
→ コードチェック結果のインポート/エクスポートが可能

2. 7. 強化ポイント (2016 → 2016autumn)

- 1) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 4.6.0 (32/64ビット版) で利用可能
- 2) 連携ツールの追加
 - ・ PMD 5.3.7、5.4.2、5.5.0、5.5.1 と連携

2. 8. 強化ポイント (2015autumn → 2016)

- 1) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 4.5.1 (32/64ビット版)、4.5.2 (32/64ビット版) で利用可能
- 2) Android開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Android SDK 6.0 に対応
- 3) 連携ツールの追加
 - ・ PMD 5.3.4 ~ 5.4.1 と連携
- 4) Java一般規約として検査規約を17個追加
- 5) CI ツール連携 Jenkins プラグインを提供 (フローティング版のみ)

2. 9. 強化ポイント (2015 → 2015autumn)

- 1) Windows (R) 10 に対応
- 2) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 4.4.2 (64ビット版)、4.5.0 (32/64ビット版) で利用可能
- 3) Android開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Android SDK 5.1 に対応
- 4) 連携ツールの追加
 - ・ FindBugs 3.0.1 と連携
 - ・ PMD 5.3.0 ~ 5.3.3 と連携
- 5) サーバー仮想化ソフトウェアに対応 (フローティング版のみ)
 - ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2012 R2 Hyper-V (R) に対応
 - ・ VMware vSphere (R) 5.0 に対応
- 6) 64ビット開発環境に対応
 - ・ 64ビット開発環境 (Java (64ビット版)、Eclipse (64ビット版)) で解析可能

2. 10. 強化ポイント (2014autumn → 2015)

- 1) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 4.4.1 (32ビット版)、4.4.2 (32ビット版) で利用可能
- 2) Android開発環境のバージョンアップに対応

- ・ Android SDK 5.0 に対応
- 3) 連携ツールの追加
 - ・ PMD 5.1.3 ~ 5.2.3 と連携
- 4) Java一般規約として検査規約を19個追加

2. 1 1. 強化ポイント (2014 → 2014autumn)

- 1) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 4.4.0 (32ビット版) で利用可能
- 2) Android開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Android SDK 4.4W に対応
- 3) 連携ツールの追加
 - ・ FindBugs 3.0.0 と連携
 - ・ PMD 5.1.0 ~ 5.1.2 と連携
- 4) EUC-JP に対応

2. 1 2. 強化ポイント (2013autumn → 2014)

- 1) OS環境に対応
 - ・ Windows (R) 8.1 に対応
 - ・ Windows Server (R) 2012 R2 に対応
- 2) Java 8 に対応
- 3) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 4.3.1 (32ビット版)、4.3.2 (32ビット版)で利用可能
 - ・ Interstage(R) Studio V11.1 で利用可能
- 4) Android開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Android SDK 4.4 に対応
- 5) 連携ツールの追加
 - ・ FindBugs 2.0.3 と連携

2. 1 3. 強化ポイント (2013 → 2013autumn)

- 1) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 4.3.0 (32ビット版) で利用可能
- 2) Android開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Android SDK 4.3 に対応
- 3) 連携ツールの追加
 - ・ FindBugs 2.0.2 と連携
 - ・ PMD 5.0.2 ~ 5.0.5 と連携

2. 1 4. 強化ポイント (2012autumn → 2013)

- 1) エビデンス出力機能を追加
 - 解析結果をエビデンスとして出力
- 2) 診断レポート生成ツールを追加
 - 解析結果からソースコードの診断レポートを生成
(Excel (R) ブック形式)
- 3) Androidアプリケーション向けの規約として検査規約を12個追加
- 4) Android開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Android SDK 4.2 に対応
- 5) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 4.2.1 (32ビット版)、4.2.2 (32ビット版)で利用可能
 - ・ Interstage(R) Studio V11.0 で利用可能
 - ・ JDK7.0 に対応
- 6) 連携ツールの追加
 - ・ FindBugs 2.0.1 と連携
 - ・ PMD 5.0.0、5.0.1 と連携
- 7) Windows (R) 8 に対応
- 8) Windows Server (R) 2012 に対応

2. 1 5. 強化ポイント (2012 → 2012autumn)

- 1) Android開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Android SDK 4.1 に対応
- 2) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 4.2.0 (32ビット版) で利用可能

2. 1 6. 強化ポイント (2011autumn → 2012)

- 1) 検査規約ロック機能を追加
- 2) 解析結果集約モードをサポート
→ pgr.javaコマンドの解析結果を品質監視オプションで集約
- 3) Androidアプリケーション向けの規約として検査規約を6個追加
- 4) Java一般規約として検査規約を6個追加
- 5) Android開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Android SDK 4.0 に対応
- 6) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 3.7.1 (32ビット版)、3.7.2 (32ビット版) で利用可能
 - ・ Interstage Studio V10.0、V10.1 で利用可能
- 7) 連携ツールの追加
 - ・ FindBugs 2.0 と連携
 - ・ PMD 4.2.6、4.3 と連携

2. 1 7. 強化ポイント (2011 → 2011autumn)

- 1) Java一般規約として検査規約を4個追加
- 2) Android開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Android SDK 3.1、3.2 に対応
- 3) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 3.7.0 (32ビット版) で利用可能

2. 1 8. 強化ポイント (2010autumn → 2011)

- 1) Androidアプリケーション開発に対応
 - ・ Androidアプリケーション向けの規約として検査規約を18個追加
- 2) Java一般規約として検査規約を5個追加
- 3) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 3.6.2 (32ビット版) で利用可能
- 4) Windows Server (R) 2008 R2 に対応

2. 1 9. 強化ポイント (2010 → 2010autumn)

- 1) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 3.6.1 (32ビット版) で利用可能
- 2) Windows (R) 7 に対応

2. 2 0. 強化ポイント (2009autumn → 2010)

- 1) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 3.5.1、3.5.2 で利用可能
- 2) 連携ツールの追加
 - ・ FindBugs 1.3.9 と連携
 - ・ PMD 4.2.5 と連携
- 3) コードチェック操作の改善
 - ・ チェック対象ファイルが存在しない場合でもコードチェックを継続

2. 2 1. 強化ポイント (2009 → 2009autumn)

- 1) Java開発環境のバージョンアップに対応
 - ・ Eclipse 3.5.0 で利用可能
 - ・ Interstage Studio V9.2 で利用可能
- 2) 英語版Windows をサポート

3. 検査規約数

(単位：個)

PGRelief バージョン	Android向け 規約					Java一般向け 規約					計
	信頼性	保守性/ 可読性	効率性	機能性	移植性	信頼性	保守性/ 可読性	効率性	機能性	移植性	
2009-2010						45	153	50	12	3	263
2011	14	0	4	0	0	46	157	50	12	3	286
2011autumn	14	0	4	0	0	50	157	50	12	3	290
2012	18	2	4	0	0	53	158	50	14	3	302
2013-2014	18	2	4	12	0	53	158	50	14	3	314
2015	18	2	4	12	0	53	158	50	33	3	333
2016-2019	18	2	4	12	0	53	158	50	50	3	350

4. 強化ポイント詳細(過去10年間分)

各バージョンのリリース時に、どのような改善や変更が行われたか、詳細について説明します。

4. 1. 2019→Agile+Relief V1.1 強化ポイント詳細

最新OS/IDE/MW環境への対応

- [Microsoft (R) Office Excel (R)] ※ 診断レポート生成ツール利用時
- Microsoft (R) Excel (R) for Office 365

4. 2. 2018autumn→2019 強化ポイント詳細

4. 2. 1. 最新OS/IDE/MW環境への対応

PGRelief Jが動作するOS/IDE/MW環境として以下を追加

[OS環境] ※ フローティングライセンス版のみ対応

- Windows Server (R) 2019

[IDE環境]

- Eclipse 4.10.0, 4.11.0 (64ビット版)

[サーバー仮想化ソフトウェア] ※ フローティングライセンス版のみ対応

- Microsoft (R) Windows Server (R) 2019 Hyper-V (R)

[Microsoft (R) Office Excel (R)] ※ 診断レポート生成ツール利用時

- Microsoft (R) Office Excel (R) 2016 (32ビット版)
- Microsoft (R) Office Excel (R) 2019 (32ビット版)

4. 2. 2. CIツール連携 Jenkinsプラグインの提供方法変更

フローティングライセンス版のインストール媒体に格納し提供していた『CIツール連携 Jenkinsプラグイン』を、個別提供に変更

『CIツール連携 Jenkinsプラグイン』を必要な方はお問い合わせください。

※『CIツール連携 Jenkinsプラグイン』で利用するオープンソースソフトウェアにEOL(End-of-life)やセキュリティ脆弱性等の問題が発生した場合、随時対応できるよう提供方式を変更

4. 3. 2018→2018autumn 強化ポイント詳細

4. 3. 1. 最新OS/MW/IDE環境への対応

PGRelief Jが動作するIDE環境として以下を追加しました。

[IDE環境]

- Eclipse 4.8.0, 4.9.0 (64ビット版)
- Java 11 ※ 動作環境のみの対応です。Java9以降に追加された構文には対応していません。

4. 4. 2017autumn→2018 強化ポイント詳細

4. 4. 1. 最新OS/MW/IDE環境への対応

PGRelief Jが動作するOS/MW/IDE環境として以下を追加しました。

[IDE環境]

- Eclipse 4.7.1, 4.7.2, 4.7.3 (32/64ビット版)

[連携ツール]

- PMD 6.0.0, 6.0.1, 6.1.0

4. 5. 2017→2017autumn 強化ポイント詳細

4. 5. 1. 最新OS/MW/IDE環境への対応

PGRelief Jが動作するOS/MW/IDE環境として以下を追加しました。

[IDE環境]

- Eclipse 4.6.3, 4.7.0 (32/64ビット版)
- Android SDK 7.1

[連携ツール]

- PMD 5.4.5, 5.4.6, 5.5.4, 5.5.5, 5.5.6, 5.5.7, 5.6.0, 5.6.1, 5.7.0, 5.8.0, 5.8.1

4. 6. 2016autumn→2017 強化ポイント詳細

4. 6. 1. 最新OS/MW/IDE環境への対応

PGRelief Jが動作するOS/MW/IDE環境として以下を追加しました。

[OS環境] ※ フローティングライセンス版のみ対応

- Windows Server (R) 2016

[IDE環境]

- Eclipse 4.6.1, 4.6.2 (32/64ビット版)
- Android SDK 7.0

[連携ツール]

- PMD 5.3.8, 5.4.3, 5.4.4, 5.5.2, 5.5.3

[サーバー仮想化ソフトウェア] ※ フローティングライセンス版のみ対応

- Microsoft (R) Windows Server (R) 2016 Hyper-V (R)

4. 6. 2. 規約の改善

4. 6. 2. 1. 型解決の改善

4. 6. 2. 1. 1. ジェネリクスに対する改善

型変数を引数に持ったメソッド呼び出しを正しく認識できるようになりました。

4. 6. 2. 1. 2. 可変長引数に対する改善

可変長引数を引数に持ったメソッド呼び出しを正しく認識できるようになりました。

4. 6. 2. 1. 3. ボクシング/アンボクシング変換に対する改善

引数でボクシング/アンボクシング変換が行われているメソッド呼び出しを正しく認識できるようになりました。

4. 6. 2. 2. pgj10315の改善

上位のtry文のfinally節でclose()メソッドの呼び出しがある場合は、指摘がでないようにしました。

4. 6. 3. 操作性/利便性の改善

4. 6. 3. 1. コードチェック結果の共有機能の追加

チェック結果をインポートおよびエクスポートする機能を追加しました。コードチェック結果(確認状態・確認メモを含む)を開発者間で共有することができます。機能の使用方法については、「コードチェック操作手引書」の「3.6 コードチェック結果を共有する」を参照してください。

4. 7. 2016→2016autumn 強化ポイント詳細

4. 7. 1. 最新OS/MW/IDE環境への対応

PGRelief Jが動作するOS/MW/IDE環境として以下を追加しました。

[IDE環境]

- Eclipse 4.6.0 (32/64ビット版)

[連携ツール]

- PMD 5.3.7, 5.4.2, 5.5.0, 5.5.1

4. 7. 2. 規約の改善

4. 7. 2. 1. pgj10315の改善

同一メソッド内でFileInputStream#getChannel()の呼び出しがある場合は、指摘がでないようにしました。

4. 7. 2. 2. pgj10316の改善

同一メソッド内でFileOutputStream#getChannel()の呼び出しがある場合は、指摘がでないようにしました。

4. 7. 2. 3. pgj10334の改善

メソッドの実引数に対するキャスト式でキャストを削除した場合にオーバーロードメソッドの存在によって呼び出しが曖昧になる時は、指摘がでないようにしました。

4. 7. 3. 大規模資産への対応機

4. 7. 3. 1. pgr javaコマンド -Xmxオプションの追加(フローティングライセンス版)

pgr javaコマンドに-Xmxオプションを追加しました。これによりコードチェック時の最大ヒープサイズが指定できるようになりました。コマンド解説書の「第1章 pgr javaコマンド」を参照してください。

4. 7. 3. 2. コードチェック時の最大ヒープサイズの設定

コードチェック時の最大ヒープサイズをEclipseプラグインで設定できるようになりました。最大ヒープサイズの設定方法の詳細については、「コードチェック操作手引書」の「2.2.5 コードチェック時の最大ヒープサイズを設定する」を参照してください。

4. 8. 2015autumn→2016 強化ポイント詳細

4. 8. 1. 最新OS/MW/IDE環境への対応

PGRelief Jが動作するOS/MW/IDE環境として以下を追加しました。

[IDE環境]

- Eclipse 4.5.1, 4.5.2 (32/64ビット版)
- Android SDK 6.0

[連携ツール]

- PMD 5.3.4 - 5.4.1

4. 8. 2. 規約の追加

Java一般規約として、以下の17件の規約を追加しました。各規約の詳細については、「規約詳細説明書」を参照してください

規約コード	規約内容	カテゴリ
pgj10434	アクセス制御されていない場所にファイルを出力しない	Java一般-機能性
pgj10435	ブラウザ画面のメニューバーを隠さない	Java一般-機能性
pgj10436	ブラウザ画面のステータスバーを隠さない	Java一般-機能性
pgj10437	ブラウザ画面のアドレスバーを隠さない	Java一般-機能性
pgj10438	Web Socket通信に推奨されないプロトコルを使用しない	Java一般-機能性
pgj10439	認証、セッション管理、アクセス制御を詐称可能な情報のみで行わない	Java一般-機能性
pgj10440	個人情報及び秘密情報を扱う場合はWeb Socket通信を暗号化する	Java一般-機能性
pgj10441	認証成功時は新規セッションを開始する	Java一般-機能性
pgj10442	プロセスの起動数は制御する	Java一般-機能性
pgj10443	Cookieに重要なデータを渡さない	Java一般-機能性
pgj10444	入力パラメータの値は検証する	Java一般-機能性
pgj10445	Originヘッダを部分一致で比較しない	Java一般-機能性
pgj10446	Access-Control-Allow-Originヘッダには信頼できるドメインを設定する	Java一般-機能性
pgj10447	HTMLの特殊文字は置換する	Java一般-機能性
pgj10448	重要情報を他プロセスとの共有領域に格納しない	Java一般-機能性
pgj10449	疑似乱数は安全に初期化する	Java一般-機能性
pgj10450	暗号化鍵をハードコーディングしない	Java一般-機能性

4. 8. 3. 規約の改善

4. 8. 3. 1. pgj10219の改善

本規約について指摘対象の引数の種別を選択できるようになりました。

4. 8. 3. 2. pgj10433の改善

本規約について指摘対象の引数の種別を選択できるようになりました。

検出対象となるメソッドとして以下を追加しました。指摘メッセージを変更しました。

– HttpServletResponse#sendRedirect(String)

【新】

HTTP ヘッダーインジェクションの危険性があります。

【旧】

クロスサイトリクエストフォージェリの危険性があります。

4. 8. 4. 操作性/利便性の改善

FindBugs連携、PMD連携で大量の参照クラスライブラリが指定された場合にエラーが発生する問題に対応しました。

4. 8. 5. CI ツール(Jenkins)のプラグイン提供 (フローティングライセンス版)

CI (Continuous Integration) ツールのJenkinsと連携するプラグインを追加しました。

プラグインを適用することで、PGRelief Jの実行結果をJenkins上で集約、表示することができるようになりました。

詳細は、インストール媒体に格納された『CIツール連携 Jenkinsプラグイン使用説明書』 (“Etc¥ci-plugin¥pgrelief-jenkins-plugin.jp.pdf”)参照してください。

4. 9. 2015→2015autumn 強化ポイント詳細

4. 9. 1. 最新OS/MW/IDE環境への対応

PGRelief Jが動作するOS/MW/IDE環境として以下を追加しました。

[OS環境]

– Windows(R) 10

[IDE環境]

– Eclipse 4.4.2 (64ビット版) , 4.5.0 (32/64ビット版)

– Android SDK 5.1

[連携ツール]

– FindBugs 3.0.1

– PMD 5.3.0 – 5.3.3

[サーバー仮想化ソフトウェア] ※ フローティングライセンス版のみ対応

– Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Hyper-V(R)

– VMware vSphere(R) 5.0

4. 9. 2. 64ビット開発環境への対応

PGRelief J(64ビット版)をインストールすることで、64ビット開発環境(Java(64ビット版)、Eclipse(64ビット版))で解析ができるようになります。

4. 10. 2014autumn→2015 強化ポイント詳細

4. 10. 1. 最新OS/MW/IDE環境への対応

PGRelief Jが動作するOS/MW/IDE環境として以下を追加しました。

[IDE環境]

– Eclipse 4.4.1, 4.4.2 (32ビット版)

– Android SDK 5.0

[連携ツール]

– PMD 5.1.3 – 5.2.3

4. 10. 2. 規約の追加

Java一般規約として、以下の19件の規約を追加しました。各規約の詳細については、「規約詳細説明書」を参照してください。

規約コード	規約内容	カテゴリ
pgj10415	データベース接続のIDやパスワードをハードコードしない	Java一般 – 機能性
pgj10416	LoginContext.login()の呼び出しの前に必ずセッションを無効化する	Java一般 – 機能性
pgj10417	Set-Contentには文字セットを指定する	Java一般 – 機能性
pgj10418	Cookieのdomain属性を指定しない	Java一般 – 機能性
pgj10419	Cookieのsecure属性を有効にする	Java一般 – 機能性

pgj10420	Cookieのexpires属性を指定しない	Java一般機能性
pgj10421	Cookieのpath属性にルートを指定しない	Java一般機能性
pgj10422	CookieのHttpOnly属性を有効にする	Java一般機能性
pgj10423	catchした例外情報を出力しない	Java一般機能性
pgj10424	Socket通信はできるだけ暗号化する	Java一般機能性
pgj10425	センシティブな処理を行う前にSecurityManagerでチェックを行う	Java一般機能性
pgj10426	危険なパーミッションを割り当てない	Java一般機能性
pgj10427	安全な暗号化アルゴリズムを使用する	Java一般機能性
pgj10428	安全なハッシュ関数アルゴリズムを使用する	Java一般機能性
pgj10429	安全な疑似乱数生成アルゴリズムを使用する	Java一般機能性
pgj10430	重要なコンテンツに対してはキャッシュを無効にする	Java一般機能性
pgj10431	ユーザ認証処理に一貫性を持たせる	Java一般機能性
pgj10432	アクセス制御処理に一貫性を持たせる	Java一般機能性
pgj10433	レスポンスヘッダに埋め込まれる値をエスケープする	Java一般機能性

4. 1 0. 3. 規約の改善

4. 1 0. 3. 1. pgj10221の改善

本規約について以下の場合、指摘がでないようにしました。

- Class型同士の比較
- equals(Object)メソッドの実装でthisと引数の比較

4. 1 1. 2014→2014autumn 強化ポイント詳細

4. 1 1. 1. 最新OS/MW/IDE環境への対応

PGRelief Jが動作するOS/MW/IDE環境として以下を追加しました。

[IDE環境]

- Eclipse 4.4.0 (32ビット版)
- Android SDK 4.4W

[連携ツール]

- FindBugs 3.0.0
- PMD 5.1.0 - 5.1.2

4. 1 1. 2. EUC-JPへの対応

4. 1 1. 2. 1. 入力ソースのコード系の変更

コードチェックの対象となる入力ソースのコード系に、EUC-JPを追加しました。

詳細は、コードチェック操作手引書の「1.2.2 コードチェックの対象となるファイル」を参照してください。

4. 1 1. 2. 2. pgrjavaコマンド -eオプションの変更(フローティングライセンス版)

pgrjavaコマンドの-eオプションに指定可能なコード系にEUC-JPを追加しました。

詳細は、コマンド解説書の「第1章 pgrjavaコマンド」を参照してください。

4. 1 1. 2. 3. 品質監視オプション検査対象資産のコード系の変更(フローティングライセンス版)

品質監視オプションの検査対象資産のコード系に、EUC-JPを追加しました。

詳細は、品質監視オプション使用説明書の「4.1.1 プロジェクト構成定義ファイル」を参照してください。

4. 1 2. 2013autumn→2014 強化ポイント詳細

4. 1 2. 1. 最新OS/MW/IDE環境への対応

PGRelief Jが動作するOS/MW/IDE環境として以下を追加しました。

[OS環境]

- Windows(R) 8.1
 - Windows Server(R) 2012 R2
- 注) 32ビットエミュレーションでの動作となります。
- 注) Modern UI designには対応していません。

[IDE環境]

- Java 8
- Eclipse 4.3.1, 4.3.2 (32ビット版)

- Interstage Studio V11.1
- Android SDK 4.4

[連携ツール]

- FindBugs 2.0.3

4. 1 2. 2. 規約の改善

4. 1 2. 2. 1. pgj10003の改善

検出対象としてアノテーション型および列挙型を追加しました。

4. 1 1. 2. 2. pgj10008の改善

検出対象としてdo-while文を追加しました。

4. 1 2. 2. 3. pgj10010の改善

検出対象としてアノテーション型および列挙型を追加しました。

4. 1 2. 2. 4. pgj10034の改善

switch文のcaseにおいて、break文、return文およびthrow文に加えて、continue文が記述されている場合も指摘がでないようにしました。

また、カスタマイズにより、処理のないcaseへの指摘を抑制できるようになりました。

詳細は、「カスタマイズ操作手引書」の「3.4.5.19処理がないcaseをチェック対象から除外する」を参照してください。

4. 1 2. 2. 5. pgj10084の改善

検出対象としてアノテーション型および列挙型を追加しました。

4. 1 2. 2. 6. pgj10085の改善

検出対象として列挙定数を追加しました。

4. 1 2. 2. 7. pgj10221の改善

型が同一の列挙型同士の比較式およびオートボクシング機能を利用した比較式において、メソッド呼び出しが記述されている場合に指摘がでないようにしました。それに伴い、指摘メッセージを変更しました。

指摘メッセージ

【新】

オブジェクトの比較で“==”または“!=”が使用されています。

【旧】

オブジェクト<<変数名>>の比較で“==”または“!=”が使用されています。

4. 1 2. 3. 操作性/利便性の改善

4. 1 2. 3. 1. エビデンス出力機能の改善

エビデンス出力がファイル単位に出力できるようになりました。

1つまたは複数のファイルをeclipse上で選択してエビデンス出力することができます。

詳細は、コードチェック操作手引書の「3.5.1 エビデンスを出力する」を参照してください。

4. 1 3. 2013→2013autumn 強化ポイント詳細

4. 1 3. 1. 最新OS/MW/IDE環境への対応

PGRelief Jが動作するOS/MW/IDE環境として以下を追加しました。

[IDE環境]

- Eclipse 4.3.0 (32ビット版)
- Android SDK 4.3

[連携ツール]

- FindBugs 2.0.2
- PMD 5.0.2 - 5.0.5

4. 1 3. 2. 規約の改善

4. 1 2. 2. 1. pgj10053の改善

検出対象としてラベル付きcontinue文を追加しました。それに伴い、規約タイトルを変更しました。

規約タイトル

【新】

ラベルへのジャンプは使用しない

【旧】

break命令によるラベルへのジャンプは使用しない

4. 1 3. 2. 2. pgj10059の改善

チェック対象となるクラスとして以下を追加しました。

- インナークラス
- ローカルクラス
- インタフェース
- 列挙型
- アノテーション型

4. 1 3. 2. 3. pgj10208の改善

チェック対象として拡張for文を追加しました。

4. 1 3. 2. 4. pgj10210の改善

検出対象となる代入演算子を以下の代入演算子から選択できるようになりました。デフォルトでは、“=” が対象となります。

=, +=, -=, *=, /=, %=, &=, |=, ^=, <<=, >>=, >>>=

4. 1 3. 2. 5. pgj10231の改善

オーバーライドメソッドのthrows句にExceptionクラスが宣言されている場合の指摘の検出の有無を選択できるようになりました。

4. 1 3. 2. 6. pgj10237の改善

検出対象となるメソッドとして以下を追加しました。

- Object#wait(long)
- Object#wait(long, int)

4. 1 3. 2. 7. pgj10238の改善

検出対象となるメソッドとして以下を追加しました。

- Object#wait(long)
- Object#wait(long, int)

※ Windows, Windows Server, Excel は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corp. の登録商標です。

※ AndroidはGoogle Inc. の商標です。

※ JavaはOracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

※ Interstageは富士通株式会社の登録商標です。

※ 本資料に記載されている会社名および製品名称は各社の商標または登録商標です。

※ 本資料に記載されているシステム名、製品名等には必ずしも商標表示 (R), TM) を付記していません。